

平成 27 年度重要政策提言メモ

森林再生事業化委員会メンバーの皆様からいただいた“平成 27 年度重点政策提言メモ”を以下に示します。

2015.02.14

飛島建設

2015 年度 JAPIC 提言へ反映する項目の案

1. 国土強靱化への木材の積極利用

山間部での土砂災害防止施策と臨海部での地震防災施策の連携

土砂災害防止のための山林整備と臨海部での液状化対策を連動させ、伐採した木材を利用した臨海部での地震防災対策（液状化対策）を実施することで、材料調達費用の削減や材料有効活用を図り、山と平地の防災の同時実施に加え、炭素貯蔵をも同時に実現し、国土強靱化施策と地球温暖化抑制施策を効率的に推進する。

国土交通省の土砂災害対策・巨大地震対策、林野庁の治山事業などの有機的な連携により推進する。

2. 木材の環境的価値のコストへの反映

建設工事において利用する木材の価値（省エネルギー（材料製造時エネルギー）だけでなく、炭素貯蔵効果、森林整備費削減などの付加価値）を初期コストへ反映する仕組みの構築

材料のコストだけではなく、環境負荷に関わるコストも考慮したコスト競争がなされるような仕組みの構築

3. 住宅・建築物の省エネ基準の見直し

木材の利用という定性的な評価から、炭素貯蔵効果を木材利用量によって評価する仕組み、マテリアルとしていかに長く使うか、使えるかの評価。

4. 木材利用を推進する新しい需要のための木材加工機器の開発への幅広い支援

5. 東京オリンピック・パラリンピック施設整備での木材の積極活用

競技施設や建物だけでなく、地盤改良、付属設備なども含めて